



学校だより

# はと広場

1月号

平成31年1月8日

さいたま市立北浦和小学校

TEL 048-831-2463

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、本校の教育活動にご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年も、子どもたち一人ひとりの思いや願いをくみ取り、個性を輝かせるために、健康で安全安心な学校づくりを進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## 前を向いて生きる 1年に

校長 益子 聡

### ◆ ほめると人は力を発揮する

「ほめると人生が好転する！」という雑誌の特集記事に出会いました（月刊 PHP、No826）。著者は、西村 貴好（たかよし）さん。一般社団法人「日本ほめる達人協会」（大阪）の理事長さんです。

〈ほめる達人〉という語感や記事の内容に共感を覚え、インターネットで検索すると、協会のホームページが出てきました。「日本ほめる達人協会」の目的は二つ。一つは〈ほめる〉素晴らしさを伝えること。もう一つは、ただお世辞やおべんちゃら言うのではなく、心の底から相手のよさを見だし、あらゆるものから価値を発見できる「ほめる達人（ほめ達）」を、世界中に生み出すことです。2011年に設立されました。

西村さんの言う「ほめる」とは〈人やモノ、出来事の価値を発見して相手に伝えること〉を意味しています。欠点しかないように思える人にも必ずプラスの資質があり、そこをほめることで信じられないような成長を遂げ、逆にマイナスなところばかりを指摘し続ければ、やる気をなくし力も発揮されないと述べています。

西村さんはかつて、業績のあがらない店舗に一般客として訪れ、改善点を指摘する調査会社も経営していました。

しかし、いくら改善点を提示しても、指摘すればするほど現場のやる気が下がり、効果も出ないことに困り果てていました。

そこで〈仕事が遅い〉と店から評価されている一人の女性アルバイトの仕事ぶりに注目し、今までのダメ出しの方法をやめ、徹底的に〈よい点〉に焦点を当てて店長に報告してみました。店長は西村さんの報告内容をそのまま女性アルバイトに伝えたところ、彼女は自信をもち、動きも速くなり、3か月後には最優秀アルバイトに選ばれるまでになりました。同時に店の売り上げもアップしました。

以来、西村さんは〈ほめる調査〉へ方針転換しました。よいところをほめ、改善点はすぐにできそうな1～2個に絞って伝えると、業績があがる事例が格段に増えていきました。

### ◆ 今日から実践 ほめる生き方

ほめる達人、西村さんがアドバイスするほめ方を、私の経験とも関連させながら紹介します。

#### 1 小さな事実を最大化する

- ・小さなことでもよい。相手が行っている（行った）事実を取り上げ、その価値や効果を最大化して伝える。そのほめ方が相手の心に響き、やがて相手は何をすべきかを自分で考え、行動するようになっていく。

（例）お茶を出してくれたスタッフに「あのタイミングでお茶を出してくれて、商談がスムーズに進んだよ」と伝える。お茶を出したという小さな事実とその効果を大きく伝える。

#### 2 “すごいね！ さすがだね！ すばらしいよ！”

- ・この三つの言葉をすぐに口に出す。反射的にほめる言葉が口を突いて出るようにしておく。

#### 3 アドバイスには、まず「惜しい！」

- ・「惜しいなあ。ここを変えると、もっとよくなるよ」と伝えることで相手は気持ちよく受け入れてくれる。「全然ダメだよ」「センスないね」とストレートに言うと、相手は傷つき、心を閉ざしてしまう。

#### 4 「これは何のチャンスだろう」

- ・一見マイナスと思う出来事に遭遇した時は、「これは何のチャンスだろう」と自分に問いかけてみる。ピンチをチャンスととらえることで、プラスの価値が見えてくる。

「でも、だって、どうせ、できません」ではなく「だからこそ！」と自分に問いかける。

ほめるは人のためならず —。他人のよいところや可能性を見つけてほめられる人は、自分のよいところや可能性も自分で見つけられる人なので、自分の心が整い、行動も前向きになっていきます。

2019年、今年はさらに上級の「ほめる達人（ほめ達）」を目指す1年にしていきたいです。